

カワネズミ *Chimarrogale himalayica* (Gray)

トガリネズミ科

特徴

頭胴長103~133mm、尾長94~105mm。背面は黒褐色で、銀色の毛がまじります。手足の指の両側に剛毛が生えていて、水かきの役をします。口先は尖り、長いひげをもち、目は小さく、尾は長く、太いのが特徴で、水中生活に適した体になっています。川の中を泳ぎ、水生昆虫、小魚、サワガニなどを食べます。河原の大きな岩の下にトンネルを掘り、落ち葉を集めて巣穴をつくり、春に産卵、子育てをします。

生息環境

山間地の溪流に生息し、水中生活に適応しています。

国や県の分布

本州・九州に分布。県内では、各山間溪流地にそれぞれ少数個体が生息します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



コキクガシラコウモリ *Rhinolophus cornutus* Temmink

キクガシラコウモリ科

特徴

小型のコウモリで、頭胴長3.2~4.5cm、体重は6~10gの大きさです。

生息環境

洞穴に多数群をつくって住みます。翼で体を被わず、側面にたたんだままで休みます。

国や県の分布

本州では普通に見られる種です。県内では平地や山地の洞穴に生息します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ヤマコウモリ *Nyctalus aviator* Thomas

ヒナコウモリ科

特徴

県内では最大のコウモリで、体重50~55g、頭胴長9.0~10.6cmの大きさです。木の洞に20~100頭を超す集団で群棲し、集団で子を育てます。6~7月に2仔を生みます。10月には他の地に移動します。

生息環境

神社などの大木の洞に生息します。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州に分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ノウサギ *Lepus brachyurus* Temminck

ウサギ科

特徴

比較的普通にみられる種で、冬の狩猟の対象種です。頭胴長45～54cm、耳長は7.6～8.3cm。毛色は、茶褐色。雪上での特異な足跡や食痕、糞の形などにより、活動を知ることができます。

生息環境

平地や山麓から姿を消し、キツネ・イタチなどが本来生息する山腹から山頂などの亜高山帯へ移り住むようになっています。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布。県内では全県に分布します。長野県では1975～1980年の5年間キツネを禁猟とし、ノウサギやノネズミを捕食するキツネを増やし、農林産物への被害を減らす策をとりました。さらに、岡山県から32頭のキツネを導入し、県内各地に放しました。その結果、キツネが増えノウサギが減りました。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ホンドモモンガ *Pteromys momonga* Temminck

リス科

特徴

小型で、頭胴長13.9～19.5cm。背面は灰褐色で、腹面は白色です。大きな目のまわりは黒褐色です。夜行性で、動きが活発です。木から木へと飛び移ります。夏は落葉広葉樹林に生息し、秋に標高の低い、スギの大木などのある寺社林に移り、スギの花粉などを多く食べます。

生息環境

山地帯から亜高山帯の森林に生息します。

国や県の分布

日本固有種で、本州から九州に生息します。県の天然記念物に指定されており、数は少ないです。自然林の伐採によりその数が減少しています。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ヤマネ *Glirulus japonicus* (Schinz)

ヤマネ科

特徴

国の天然記念物に指定されており、1科1属1種です。小型で、頭胴長6.1～8.4cm。背面は淡褐色で、背中に黒いすじ模様があります。

生息環境

標高700m以上の森林に住みます。冬に活動を停止し、山沿いの人家、山小屋等に入り込んで冬眠します。

国や県の分布

本州・四国・九州の山地帯から亜高山帯に生息します。県内ではハヶ岳山麓に多く生息します。森林伐採や開発のために生息場所の悪化が懸念されます。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ミソゴイ *Gorsachius goisagi* (Temminck)

サギ科

特徴

夕方から夜に「ポウーポウー」と牛のような声で鳴きます。雄、雌同色の、ニワトリくらいの大きさです。湿っぽい、うっそうとした林内の地上で、サワガニや昆虫などを食べます。樹上の枝の上に、ハトに似た粗雑な巣を造り、共同でヒナの世話をしますが、危険がせまると親もヒナも巣の上で首をのぼして静止しています。

生息環境

低山帯のよく茂った樹林、沢筋、山間の池の縁、スギ・ヒノキのあるような林などのやや暗いところを好みます。

国や県の分布

夏鳥として、九州・四国・本州・伊豆諸島に分布。県内では全域に生息します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ウズラ *Coturnix japonica* Temminck & Schlegel

キジ科

特徴

全長20cm、体は丸く全身褐色です。雄、雌はよく似ていますが、雌の体は大きく、雄は褐色が強いのが特徴です。草の中などにいるので、人が近づくと「プルルル」と羽音をたてて足元からとびだしますが、遠く飛ばずに低く飛んで近くに降ります。草の実や昆虫類を食べます。

生息環境

山地の草原で繁殖し、平地の河原、農耕地の草原で越冬します。

国や県の分布

夏鳥として、本州中部以北で繁殖し、冬期には本州中部以南に移動します。対馬・宮崎県での繁殖例もあります。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ヒクイナ *Porzana fusca erythrothorax* (Temminck & Schlegel)

クイナ科

特徴

全長23cm、雄、雌同色で、一見したところ赤っぽい鳥。尾は短く足が長いです。尾を振りながら足を交互に出して歩きます。飛ぶ姿は足をふらりと下げて、速く羽ばたき、直線的に飛びます。昆虫、カエル、小魚、クモ、植物の実などを食べます。昔は稲株に巣をつくりましたが、最近は草地、湿地の地上につくります。「キョキョキョキョ」と、尻上がりに速く鳴きます。ヒナは早くに巣を出ます。

生息環境

平地から高原の水田、湿地、河川の草むらに生息します。

国や県の分布

夏鳥として、全国に渡来して繁殖し、少数が本州北部以南で越冬します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ヨタカ *Caprimulgus indicus jotaka* Temminck & Schlegel

ヨタカ科

特徴

夜行性で、夕方から夜、明け方に「キョッキョッキョッキョ」と同じテンポで鳴きます。全長29cmで嘴は小さいですが、口を開けると大きいです。雄、雌同色ですが、雄は尾羽の両端に白斑があります。飛行姿がタカに似ているので、この名があります。木にとまるときは、かなり細い枝でも平行にとまります。飛行中は大口で飛翔昆虫を捕食します。卵は直接地上に2個産み、卵からかえったヒナは数日で巣を出ます。

生息環境

平地から山地の林、伐採地、河原や草地、農耕地で繁殖します。

国や県の分布

夏鳥として、九州以北に渡来。県内では全域に生息します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus divaricatus* (Raffles)

サンショウクイ科

特徴

「ヒリヒリヒリン」と澄んだ声で繰り返し鳴く、全長20cmのほっそりした鳥で、尾は長めで雄、雌は同色に近いです。飛翔時は翼の上下面に白線が出て、波形に飛びます。樹上で昆虫の幼虫や成虫を探して食べます。巣は高い木の枝上や股に、外部にウメノキゴケを使用して、木の瘤のように見える巣をつくります。

生息環境

平地から山地の広葉樹林で、大きな落葉樹のあるところを好みます。

国や県の分布

夏鳥として、本州以南に渡来し、九州南部以南では越冬するものもいます。県内では全域に生息します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



アカモズ *Lanius cristatus superciliosus* Latham

モズ科

特徴

雄、雌ほぼ同色で、全長20cm程度の赤く見える鳥です。警戒時は「ギチッギチッ」と鳴きますが、春先の渡来時は、雄が小声で他の鳥の声をまねてさえずりながら、雌の前で求愛の踊りをします。昆虫が主食ですが、カエル、トカゲ類も食べ、ハヤニエもします。

生息環境

平地から山地の開けた明るい林、低木のある草地、農耕地に生息しますが、住宅地の庭や公園の松の木などにも営巣します。

国や県の分布

夏鳥として、九州以北に渡来。県内では全域に生息します

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ノビタキ *Saxicola torquata stejnegeri* (Parrot)

ツグミ科

特徴

スズメより小さく、秋には雄も雌も全体に褐色になります。どちらも翼に白斑があります。高原の木や草の上端にとまって、「ヒチューヒチー」と澄んだ声でさえずり、雄、雌とも人が近づくと、「ヒッ」とか、「ジャッジャッ」と鳴き警戒をします。

生息環境

山地、亜高山帯の草原、低木の混じった草原や荒れた畑で繁殖し、秋の渡り時は、平地の河原や田畑にも見られます。

国や県の分布

本州中部以北・中国山地に生息。県内では全域の高原に生息しますが、おもに中信と東北信の高原で繁殖します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



マミジロ *Turdus sibiricus davisoni* (Hume)

ツグミ科

特徴

ムクドリと同等。雄は全身が黒く、肩だけが白いのが名前の由来です。雌はオリーブ褐色で、腹部は白く、黒褐色の三日月形の小横斑があります。ともに飛行時には翼の下面に、幅のある白帯が出ます。雄は、さえずるとき梢やその近くにとまり、「キョロイター」と一声ずつ鳴き、目立ちます。繁殖期は地上でミミズや昆虫類を食べ、秋には木の実をよく食べます。

生息環境

低山帯から亜高山帯までの、よく茂った広葉樹林や針葉樹林を好みます。

国や県の分布

夏鳥として、本州以北に渡来。県内では全域に生息します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



センダイムシクイ *Phylloscopus coronatus* (Temminck & Schlegel)

ウグイス科

特徴

全長13cm、雄、雌同色。黄白色の細い眉斑は白っぽく、目先側は黄色味をしています。眉斑の上の頭側線と過眼線は黒く目立ちます。頭の中にはっきりした淡色線があり、翼にも黄白色線があります。「チイチョビイー」とさえずり、枝から枝へ移動しながら、木の葉の裏などへ飛びついて虫を捕食します。

生息環境

平地から山地の落葉広葉樹林に生息し、沢筋や山の斜面のヤブの多いところを好みます。

国や県の分布

夏鳥として、九州以北に渡来。県内では全域に生息します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



オオルリ *Cyanoptila cyanomelana cyanomelana* (Temminck)

ヒタキ科

特徴

全長16cm、雄の背面は目も覚めるようなルリ色、雌の背面は暗褐色で腹面は黄褐色、腰の下部から尾の基部は赤味のある褐色です。渓谷に沿った林を好み、雄は高い木の梢や沢に突き出た横枝で、「ピョピョーキョキョ」とか、「ビイビイチーチリリリ」などと繰り返しさえずります。雌もさえずります。谷沿いに並んでなわばりがあり、崖地の窪みの苔むしたところに巣をつくり、5個程度の卵を産みます。

生息環境

低山から亜高山帯の谷間の林、崖地のある沢に生息します。

国や県の分布

夏鳥として、九州から北海道の全国に分布。県内でも全県に分布します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



サンコウチョウ *Terpsiphone atrocaudata atrocaudata* (Eyton)

カササギヒタキ科

特徴

大きさはスズメくらいで、雄の尾羽は中央の2枚が30cm程度と長く、雌の尾羽は短いですが、他の鳥に比べると長いです。ともに目と嘴のコバルトブルーが目立ちます。巣は小枝の分枝に、クモの巣を使ってコケや樹皮でカップ型につくり、3~5個の卵を産みます。エサは飛んでいる昆虫を捕まえます。枝から虫を追って舞い上がり、再び元の枝に戻る行動をよくします。雄も雌もよくさえずります。

生息環境

平地から低山の常緑や落葉広葉樹の薄暗い林で繁殖します。

国や県の分布

夏鳥として本州以南に分布。県内では全域に分布しますが、個体数が減少中です。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ホオアカ *Emberiza fucata fucata* Pallas

ホオジロ科

特徴

全長16cm、雄、雌ほぼ同色で、雌は全体に淡い色です。ホオは赤味のある栗褐色で、後方に白斑があります。雄は低木上で「ピョッピョッチチュリチッ」とよくさえずるので目につきます。草の中や低木上に、枯れ草でお椀型の巣をつくり、3~6個の卵を産みます。

生息環境

低地、田の畔、低山帯から亜高山帯の草地や牧草地の乾いた低い草地を好みます。秋は河原や水田に見られます。

国や県の分布

夏鳥として、北海道から九州で繁殖し、冬期は本州以南で漂鳥。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



クサガメ *Geoclemys reevesii* (Gray)

イシガメ科

特徴

腋下腺あきげせんなどから悪臭を出すので、この名前がついています。甲羅こうらの後ろの縁が滑らかで、ギザギザがありません。個体数は少ないです。以前は、ペットとして飼われていました。

生息環境

淡水のカメで、川、池、沼などに生息しています。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布。県内ではその数は少ないです

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ヒバカリ *Natrix vibakari vibakari* (Boie)

ヘビ科

特徴

体の背面は褐色、口から頬にかけて斜めの淡黄色の帯紋おびもんがあります。おとなしいが、近づくと威嚇いごうします。そのため、昔から毒蛇と誤解され、「咬まれると命はその日ばかり」といわれていました。カエル、小魚、ミミズなどを食べます。その生活史はほとんど知られていません。

生息環境

水田、水路・溝などの水辺で夕方見かけます。森林から平地まで広く生息します。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布。県内では、中农信地方を除く一部の地域から生息の報告があります。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ヒダサンショウウオ *Hynobius kimurae* Dunn

サンショウウオ科

特徴

体色は紫褐色の地色で黄色の斑点、斑紋はんもんをもちます。体は太く、胸は長いのが特徴です。

生息環境

山地帯の森林内に生息し、繁殖と越冬は溪流中で行います。

国や県の分布

関東・中部・北陸・近畿・中国地方の山地に生息します。県内では、北アルプス・南アルプス・中央アルプス・木曾谷に生息しています。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ツチガエル *Rana rugosa* Schlegel

アカガエル科

特徴

体色は灰褐色で、背面や四肢が多数のイボでおおわれていることから、「イボガエル」とも呼ばれています。体からだす粘液は毒性が強く、悪臭なので、天敵から逃れる働きがあります。雄は「グューグュー」と低い声で鳴きます。オタマジャクシのまま冬を越し、翌年に変態し、成体（カエル）となります。

生息環境

湖沼、溜池、小川、水田などに生息します。

国や県の分布

本州・九州に分布。県内では各地に多数生息していましたが、水田の畔が掘り直しの水路からコンクリートのU字溝に改修されたり、乾田化して、急速にその数を減らしています。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



カジカガエル *Rhacophorus buergeri* (Schlegel)

アオガエル科

特徴

体長は雄で70～80mm、雌で30～40mm、指に吸盤が発達し、流れの速い溪流の岩や石の上にあります。雄はかん高い声で、「ヒョロ、ヒョロ」と鳴きます。

生息環境

山地の水のきれいな溪流に生息します。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布。県内では千曲川・犀川・天竜川・木曾川の山間流域に生息していました。しかし、ダム発電のため取水をし、本川に水が流れなくなり、本川でのカジカガエルの鳴き声は消えました。その後、30年ぶりにダムの契約が変更され、本川に再び水が流され始め、カジカガエルの鳴き声が聞こえ始めました。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



スナヤツメ *Lethenteron reissneri* (Dybowski)

ヤツメウナギ科

特徴

口は吸盤状で、顎骨をもたないため、骨性の歯がありません。目の後方に、7対のえら穴があります。背びれ、尾びれ、尻びれが連続し、対をなす胸びれ、腹びれがありません。現存の魚の中で、最も古い形質をもった魚です。4～5月頃に湧水のある砂れき地に集まり、くぼみを掘って集団で産卵します。幼生は砂泥に身を隠し、夜間に出て珪藻類を食べます。3～5年後の秋に体長10～15cmで変態し、翌春に産卵し死亡します。ギギ、ギナンボなどと呼ばれ、食用にされていたこともあります。

生息環境

水の澄んだ流れの緩やかな浅い清流に生息します。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州の一部に分布。県内では、全域に生息していましたが、河川改修や、水質汚濁により生息域が狭くなりました。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ウナギ *Anguilla japonica* Temminck and Schlegel

ウナギ科

特徴

背びれ、尾びれ、尻びれが連続していて、対をなす腹びれがなく、体には斑紋がありません。夜行性で小魚・カニ・エビ・貝などを食べます。

生息環境

海と川を行き来する魚で、産卵のため海へ下ります。フィリピン沖で産卵し、孵化した幼魚は柳の葉の形をしています。日本沿岸にたどり着くとシラスウナギとなり、各河川に入って成長しながら遡上します。

国や県の分布

北海道南部以南の全国に分布。県内では天竜川や木曾川に昭和20年代までは遡上する天然のウナギがいました。戦前、戦後に造られた発電ダムにより生息環境が悪化し、遡上そのものが阻止されました。以降、養殖のウナギの放流がなされています。現在では、県内全域の中流域から下流域の河川・湖沼に生息しています。

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	



ホトケドジョウ *Lefua echigonia* Jordan and Richardson

ドジョウ科

特徴

本州固有の小型ドジョウで、体はドジョウに比べ丸くて、小さいです。口に4対のヒゲを持ちます。個体数は多くありません。

生息環境

湧水地や清流に生息します。

国や県の分布

本州（青森県を除く近畿以北）に分布。

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	



ナマズ *Silurus asotus* Linnaeus

ナマズ科

特徴

あごの上下に1対ずつの長い口ひげがあり、目は小さく、背面に位置しています。肉食で、小魚やカエルなどを捕食します。

生息環境

5~6月頃、川から用水や水田に上がり、泥底に群がり、産卵します。

国や県の分布

国内全域に分布。

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	N
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD	



アカザ *Liobagrus reini* Hilgendorf

アカザ科

特徴

全長10cm程度。小型の底生魚。背びれと胸びれの先端に鋭い棘が1本あり、これに触ると激痛を感じます。あごの上下には2対ずつのヒゲがあります。県内では「サスリ」とも呼ばれます。

生息環境

石の下にすみ、夜間活動し、水生昆虫を食べます。やや水温の高い、平瀬や早瀬に、ウグイやオイカワと一緒に生活しています。

国や県の分布

本州（宮城県・秋田県以南）・四国・九州に分布。

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD



ニッコウイワナ *Salvelinus leucomaenis pluvius* (Hilgendorf)

サケ科

特徴

イワナの一亜種で、日本海側へ流れ込む水系に生息します。体は暗褐色で脂びれがあり、背部から体側にかけてひとみ孔大の白い斑点が多数あります。体側には黄色または淡い朱色の斑点が散在しています。水生昆虫や、落下した陸上昆虫、小動物を食べます。2~3年で成熟し、産卵期は10~11月で、流れの緩やかな砂れき底に産卵します。その後も餌を食べ成長し、毎年、大きくなります。

生息環境

河川の上流域や冷水の湖沼に生息します。

国や県の分布

山梨県の富士川と鳥取県日野川以北の本州各地に分布。

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD



メダカ *Oryzias latipes* (Temminck and Schlegel)

メダカ科

特徴

全長40mm。目が大きく、口は小さく上向き。頭から背びれまでの線は平らで、背びれは体の後方についています。雄は背びれにきれこみがあり、尻びれが平行四辺形で大きいのが特徴です。雑食性で、イトミミズやボウフラを食べます。産卵は7~8月。

生息環境

自然度の高い池や沼、流れのゆるい小川、用水路に生息します。

国や県の分布

北海道を除く本州全域に生息します。ほ場整備や水路のコンクリート化などにより水田と用水路の環境が悪化していることや、農業や生活排水の流入などにより水質が悪化していることにより大幅に数が減っています。

塩尻市	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD
長野県	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD
環境省	EX	EW	CR	EN	VU	NT	DD

